

令和慶讃法要お礼

平素、護寺運営にご理解ご協力いただきありがとうございます。

令和慶讃法要無事円成

5/18 大本山鎌倉光明寺僧侶による、光明寺に伝わる「香盤行道」が、法蔵院令和慶讃法要でお勤めいたしました。

多くのお檀家様にご参拝いただき、無事円成できましたこと、あみだ様のご加護と関係各位の皆様のお陰様と深く御礼申し上げます。

今後とも副住職共々、法蔵院の興隆に努めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

当日の様子はこちらから



法蔵院



令和慶讃法要の様子が掲載されました

月刊第1123号「はまかぜ」 2025年6月6日号

五劫山 法蔵院（浄土宗）

津久井のお寺で慶讃法要

「五劫山 法蔵院」内の「前机」「上机」（浄土宗）では5月18日

に「令和慶讃（けいさん）法要」が行われた。京急津久井浜駅近くから鉦搦（しやうこう）の音に導かれてお寺に向かうと、お練りの行列が到着。浄土宗三浦組寺院、雅楽、総代、

余郷有聡住職の「僧正」叙任、長男隆正さんの「副住職」就任や本堂



唄、稚児らも華やかな衣装に冠を頭にのせて歩いた。

爽やかな色の袈裟に身を包んだ余郷隆正副住職が本堂角塔婆前回向を行い、挨拶の後は本堂にて慶讃法要が行われた。参加者は極楽浄土に想いを寄せて念仏を唱えていた。

「タウンニュース」

2025年5月23日



青袈裟をまとい連行列で法蔵院周辺を練り歩いた隆正さん

津久井「法蔵院」開創820年祝う法要

副住職の就任披露も

横須賀市津久井にある「列」や、弦楽器ユニット五劫山法蔵院で5月18日 JEWEL（ジュエル）日、開創820年と浄土の特別コンサートなどが宗の開創850年を記念 企画され、節目を盛大にした「令和慶讃法要」が 祝った。

開かれた。同院が経営する 同院は1204年、明る津久井幼稚園の園児約 円上人により天台宗の寺30人が、華やかな衣装として開創され、後に浄近隣を一周する「稚児行 土宗に改宗したとされる。

る。

余郷有聡住職（61）は55代目で、副住職には新たに実息の隆正さん（24）が就任。法要では、満開の桜が描かれた青袈裟を身にまとった隆正さんが初めて導師を務め、「南無阿彌陀仏」の念仏を唱えて檀家の無病息災を祈願した。

有聡さんは「南無阿彌陀仏」と唱えれば、誰でも極楽浄土に行けると教えているのが浄土宗。ここまで脈々と受け継がれてきた教えを広めてほしい」と期待を寄せた。

隆正さんはスノーボード選手、津久井幼稚園の職員、僧と3足のわらじを履く。今後について、隆正さんは「恩返しをする意味でも、寺を継いで、浄土宗を次の世代につなげたい。三つの生活が、それぞれ良い方向に影響すれば」と語った。

同院では、仏教の開祖である釈迦の誕生祭や、経典の勉強会などを定期的に開催している。